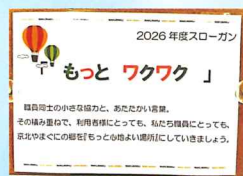


2026年7月 No.9

や・ま・ぐ・に



事業計画説明会風景

もっとワクワク!!



楽しいことあるかなあ?

5月28日、令和8年度事業計画説明会を実施しました。今年度は、職員の支援スローガン『もっとワクワク!!』を合言葉に、ご利用者一人ひとりが安心して、自分らしく楽しく過ごせる毎日を目指すことを宣言しました。日常生活の中に小さな楽しみや挑戦の機会を増やし、「できた」「うれしい」「またやってみたい」という気持ちを大切にしながら、ご利用者とともに笑顔あふれる施設づくりに取り組んでまいります。



『自閉スペクトラム症って???』(第9回)

今回から複数回、発達障害があると公開している有名人についてお伝えします。まず初めにすでに故人となられている方のご紹介です。

氏名 : 山下 清 (画家)
障がい : 知的障がいと自閉スペクトラム症 (ASD) 傾向

人物像は、驚異的な映像記憶力 (瞬間記憶能力) の持ち主で、サヴァン症候群だった説もある。

ちぎり絵やペン画を主流とした作品を多く残した日本の画家。「花火」や「桜島」など、行く先々の風景を多く貼絵に遺しています。

知的障害児施設「八幡学園」での生活で「ちぎり紙細工」に出会い、没頭していく中で才能が磨かれました。18歳の時に突如学園を脱走し、1940年～1955年6月(32歳)までの間、放浪の旅を繰り返していました。

とりわけ、花火が好きだった清は、花火大会開催を聞きつけると全国に足を運び、その時の感動した情景をそのまま作品に仕上げています。

「日本のゴッホ」、「裸の大将」とも呼ばれていました。

晩年は、『東海道五十三次』の制作を志して、東京から京都までのスケッチ旅行に出かけています。ですが、旅先ではなく八幡学園や実家に戻ってから記憶をもとに描くというスタイルでした。

1971年7月12日、名古屋の熱田神宮に滞在中、脳出血のため死去。49歳没。



アイスが美味しい季節になりましたね? 京北は納豆が名産品ということで、簡単に作れる納豆オムレツを紹介しましょう。①溶き卵に水小さじ2杯、塩コショウ少々を加え、油を敷いたフライパンで全体に広がるようにして焼く ②その中心にしっかり混ぜた納豆を乗せて包む。簡単でしょう? さらに、納豆が入っていたパックに市販のバニラアイスに乗せてしっかり混ぜれば簡単トルコ風アイスの完成です。私は納豆は苦手なので食べませんが、ぜひ試してみてください (笑) [廣瀬]

一緒にワクワクしませんか?



気軽にお問い合わせ下さい



発行 社会福祉法人 京都杉の木会 京北やまぐにの郷
〒601-0314
京都市右京区京北大野町菖蒲ヶ回互10-2
TEL : 075-853-0571 FAX : 075-853-0372
URL : <https://yamaguni.jp>
Mail : keihoku802310@yacht.ocn.ne.jp

感謝をカタチに！ ありがとうボードの取り組み

2024年1月、京北やまぐにの郷玄関ホールに「ありがとうボード」を設置しました。これは「感謝を形にすることで、職員同士の気づかいや営みを『見える化』し、労りあえるように」という理事長の発案で始まった試みです。

設置場所の検討や飾り付けなど、多くのスタッフの協力を得て完成したボードには、日々の業務で生まれた「助かったよ」「うれしかった」という小さな感謝が、付箋となって寄せられています。

4月には、昨年度の投稿を称える「理事長杯」を開催。感謝を受け取った人・伝えた人の上位各3名に「ありがとう賞」「おかげさま賞」が贈られました。さらに、5月には新しい試みとして「わくわくボード」も始まっています。ボードに並ぶメッセージは、みんなの「お互い様」や「小さなハッピー」が集まった場所です。これからもあたたかい言葉を大切に、利用者様にとっても職員にとっても心地よい場所になることを目指しています。(正田)



新しい仲間を紹介します!!

昨年度10月よりやまぐにの郷の一員としてお世話になっております。この6ヶ月は色々な初めてであふれ、感情の動かされるあっという間の6ヶ月でした。このフレッシュな気持ちを忘れず、笑顔あふれるやまぐにの郷の一人として利用者さんに寄り添い、共に歩めるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。(中村聡美)



今年の2月よりお世話になり、早くも3か月が過ぎました。これまでとは違う分野への挑戦にワクワクしつつ緊張もしています。

利用者さん一人ひとりに寄り添いながら安心して過ごしていただける支援ができるように日々学んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。皆さんも一緒にワクワクしませんか？(中村京子)

2026年度 各委員会スローガン		
委員会名	目標	
★個別支援会議★	”もらってうれしい個別支援計画”	
給食委員会	”安心安全な食事を提供するため、魚国さんとのよい良い関係を目指します”	
虐待防止委員会 身体拘束適正化委員会	”虐待防止マニュアルの定着をはかっていく”	
衛生推進委員会 (業務改善)	”安全に気持ちよく働ける環境をみんなで作ろう”	
感染対策委員会	”実践的な研修や訓練をしていく”	
サービス向上委員会 (日中活動)	”みんなで盛り上がりよう”	
防災委員会	”避難マニュアルの定着をはかっていく”	
リスクマネジメント委員会	”間違いは起こるものと心得て、個人を責めず、仕組みを改善する”	
事業評価委員会	”満点目指してレッツゴー!!”	
☆新規事業検討委員会	”新規事業へ ホップ！ステップ！ジャンプ!”	
広報誌委員会	”京北地域につぶやこう!!”	
地域連携推進委員会	”来て！見て！知って！わたしたち!”	
個人情報管理委員会	”情報の組織管理化に取り組む”	
経営管理委員会 (ハラスメント関連)	”「聴く力」「解く力」を高める”	

前期健康診断の風景



今年も健康診断の季節が来ました。

何度も健診を受けてきて経験値も上がり、今では一人で健診を受けることができるようになった方もおられます。関わっている施設職員にとっては日常ですが、これは凄いことなのです。落ち着いて医師の診察を受けること、健診を毎年受けること。

長年にわたる経験の積み重ねに感謝します。みんな頑張った!! (高原)

